

国勢調査2020

新型コロナウイルス感染症の 感染防止に配慮して行います

国勢調査は、日本国内に住む全ての人と世帯を対象とする国の最も重要な統計調査です。今回の調査では、感染症の感染拡大防止のため調査書類の配布や回収をできる限り世帯の皆さんと調査員が対面しない方法で行います。

調査書類の配布

国勢調査員証・腕章を身につけた調査員が9月中旬から各世帯を訪問して配布します。インターホン越しに説明を行ったり、ご不在の場合は調査書類を郵便受けやドアポストに投函する方法により接触する時間を短くします。

回答方法

インターネット回答、郵送での回答を原則としています。インターネット回答はスマホやパソコンを使って回答でき、とても便利です。

調査員による回収を希望する場合は、調査書類配布の時に調査員にお申し出いただくか、国勢調査秩父市実施本部(情報政策課)までご連絡ください。

なお、配布される書類に「回答が確認できない場合には調査員が調査票の回収に伺う」旨の記載がありますが、接触をできる限り避けるため、回収希望の申し出があった世帯のみ回収の訪問をします。

国勢調査秩父市実施本部 (9月14日から開設)

☎22-2816または情報政策課☎22-2204

「秩父地域し尿処理事業 広域化準備室」 が設置されました



秩父圏域の人口約10万人のうち、半数以上がくみ取り式トイレおよび浄化槽を利用しています。

し尿処理施設は圏域内に3施設あり、いずれの施設も、くみ取り式トイレから排出される生し尿を対象に整備しています。

近年は、くみ取り式トイレの減少と浄化槽処理世帯の増加により圏域のし尿処理施設の処理効率が低下し、人口減少の影響で全体の投入量も減少傾向にあります。平成30年度は、施設の計画処理能力に対する圏域3施設の平均稼働率が約44%まで減少し、施設の老朽化から、維持管理費用も増大しています。

このような現状を踏まえ、4月1日に「秩父地域し尿処理事業広域化準備室」が歴史文化伝承館4階に設置されました。

今後、圏域のし尿処理事業について、広域的な視点に基づき、施設更新や運営管理など具体的な協議検討を進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

秩父地域し尿処理事業広域化準備室

☎26-1135



本格的な台風シーズンを迎え、低い土地での浸水や土砂災害が発生しやすい時期となりました。昨年から5段階の「警戒レベル」を用いて避難行動をお知らせしていますが、警戒レベル4までに避難を済ませるようお願いしています。また、皆さんの中には、新型コロナウイルス感染症の感染が懸念され、災害時に避難所に避難するかどうか迷われている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。市民の皆さんは次の3つのことを確認していただき、避難所への避難

コロナ禍での 避難所への避難

市長 久喜 邦康



「和を以って
貴しと為す」

- を判断してください。
 - ① 自分が住んでいる場所は、避難の必要がある場所なのか。
 - ② 親戚や友人・知人の家などへの避難が可能か。
 - ③ 避難所では、感染リスクがあることを認識する。
 - ① については、ハザードマップにより自宅周辺の状況や避難所までの避難経路を確認していただくとともに、自宅での安全が確保されている場合は、自宅の安全な場所へ避難してください。
 - ② については、近くの安全な親戚や知人の家など、避難所以外の避難も検討してください。
 - ③ については、市では、避難所の3つの密(密閉・密集・密接)を避けるため通常より多くの避難所が開設できるよう準備を進めています。また、開設する避難所内の感染防止を図るため十分な換気や避難所の衛生環境確保に努めていきます。避難される皆さんも健康状態の確認、避難所での定期的な手洗い、咳エチケットなどを徹底していただくとともに十分な換気の実施、スペースの確保などの協力をお願いします。
- 情報は、ちちぶ安心・安全メールや防災行政無線、カクニくんなどで発信します。また、警戒レベルについては、市報ちちぶ7月号2ページで紹介していますのでご覧ください。